

令和元年度 南相馬市との文化・芸術交流について

令和元年度における交流自治体・福島県南相馬市との文化・芸術交流について、以下のとおり報告する。

1 日本フィル被災地支援活動への応援（通年）

区と友好提携を結んでいる日本フィルハーモニー交響楽団は、東日本大震災以降、南相馬市などの東北地方を訪れ、音楽を通じた被災地支援活動「被災地に音楽を」を継続し、これまで263回（平成31年4月現在）実施している。

区では、この活動をふるさと納税制度を通じて引き続き応援していく（昨年度寄附金額376,000円）。



2 「武者絵展」の実施（5月・12月）

伝統行事「相馬野馬追」の応援企画で、プロのマンガ家・イラストレーターら総勢100名が思い思いの武者の絵を描く「武者絵展」を、武者絵展実行委員会と共催で、年2回、区役所区民ギャラリーにて実施している。

※東京2020大会のテーマの1つである「復興」の公認プログラムとして認定



3 南相馬写真展の巡回展示（6～7月）

区とNPO法人が協働で展開している「まちなかギャラリー」にて、相馬野馬追フォトコンテストの巡回展示を実施する。

4 南相馬市子ども文化芸術交流事業への参加（8月）

子どもたちの芸術への創造性を高めるとともに、自治体間交流を深めるため、南相馬市が交流している自治体と南相馬市の小中学生との共同により芸術作品を制作する。女子美術大学の教授・生徒が講師として、また区立中学校の生徒が参加する。

